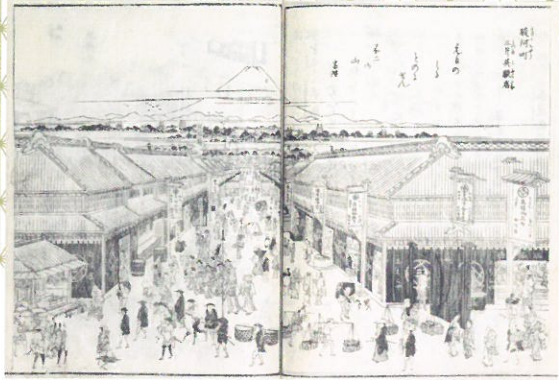


# 江戸・京都名所巡り

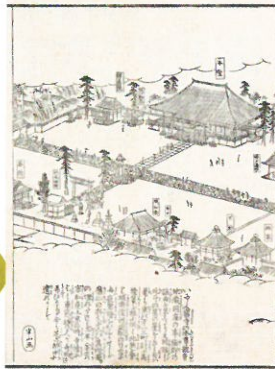


江戸名所図会(駿河町三井呉服店)  
斎藤長秋ら編、天保7年(1836)

2026.  
7.18 SAT — 9.13 SUN

- | 開館時間 | 9:00～17:00(入館は16:30まで)
- | 休館日 | 月曜日(7月20日は開館し、翌日休館)
- | 入館料 | 一般500円(400円)  
小中高生100円(80円)  
市内在住の70歳以上100円(80円)

※( )内は30名以上の団体料金・前売り料金、市内在住の70歳以上は団体のみ。  
※前売券は購入した日の翌日から使用でき、当館のほか市役所じょうほうひろば・豊橋市美術博物館で販売しています。  
※市内在住の70歳以上の方は身分証明書をご提示ください。  
※ほの国こどもパスポートをお持ちの小学生は無料です。  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添の方1名は無料です(マイロIDが使用できます)。



六十余州名所図会 江戸 浅草市  
歌川広重、嘉永6～安政3年(1853～56)



再撰花洛名勝図会(六波羅室寺)  
木村明啓 編、元治元年(1864)

東海道名所之内 京清水寺(暨絵東海道)  
歌川広重、安政2年(1855)



豊橋市二川宿本陣資料館

豊橋市二川町字中町65 TEL.0532-41-8580

# 江戸・京都の名所巡り



美人東海道 江戸日本橋(部分)  
深斎英泉、天保13年(1843)頃



定川八幡山勝景 / 五雲亭貞秀、文久3年(1863)



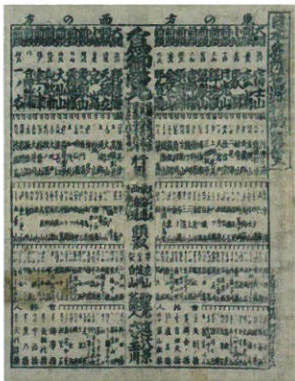
六十余州名所図会 山城あらし山渡月橋  
歌川広重、嘉永6~安政3年(1853~56)



五十三次名所図会 京三條大はし(絵巻東海道)  
歌川広重、安政2年(1855)



東海道名所之内 口絵(絵巻東海道)  
歌川広重、安政2年(1855)



日本名所旧跡行脚数望 / 河内屋長七版、江戸時代

元禄時代になり社会が安定すると、街道が整備され宿場町が発達したことに伴って庶民の間でも旅への関心が大きくなりました。また一方で、東国の江戸は政治の中心、西国の京は文化の中心として人が集まることにより都市として大きく成長しました。それにともなって、古くから知られた寺社や景勝地のほかに、開発や整備によって新たにできた名所が都市の各地に誕生しました。あわせて、名所を紹介する書物や刷り物なども発行されました。今回は、これらとあわせて、この地域に残る旅日記などをもとに江戸と京の名所を巡ります。



西国巡礼道中図 / 大坂屋長三郎、江戸中期

## 会期中のイベントなど

### ◆ギャラリートーク

7月25日(土)、8月9日(日)、8月22日(土)、8月23日(日)  
14時~15時 講師 ● 担当学芸員

### ◆第12回「灯籠で飾ろう二川宿」

7月25日(土) 点灯時間 ● 19時~21時  
交通規制 ● 18時~21時30分(規制範囲:二川駅~二川一里塚跡[川口屋]まで)

### ◆夏休み体験講座「本陣のおぼけ屋敷」

8月29日(土)・30日(日)  
申込み ● 8月1日(土)~10日(月) 詳しくはホームページをご確認ください。

### ◆菊の節句「重陽」 9月5日(土)~13日(日)



本陣のおぼけ屋敷



次回  
企画展

## 大正期の東海道ブーム 10月10日(土)~11月23日(月・祝)

明治初期の宿駅廃止から50年を経過した大正期は、東海道が大注目されました。画家や文学者らによって当時制作された作品や書籍などから、「旧道」の文化的価値について考えます。

## 豊橋市二川宿本陣資料館

441-3155 豊橋市二川町字中町65  
TEL.0532-41-8580 FAX.0532-41-8940  
<https://www.futagawa-honjin.jp/>

二川本陣 検索

